

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 4年 10月 17日

アンケート期間: 令和 4年 9月 15日～令和 4年 10月 5日

事業所名 こども発達サポートセンターじゃんぼっぷ 保護者等数(児童数) 9名 回収数 5 割合 55.5%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5				・季節の遊びや、イベントも行ってっていて、とても楽しそうにしています。 ・様々な活動があつて楽しめています。 ・家でもまねして取り組めるよう活動を紹介してくれてうれしいです。	・有り難うございます。今後もお子様が楽しめる内容で活動していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	1		・コロナの影響もあるので、交流はないですが、保育園へ行っているので問題ないです。	・並行通園のお子様が多いのでじゃんぼっぷとしては行っておりませんが、お子様の通われている園とは連携させていただいております。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2	1		2		・必要なお子様には対応させていただきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5				・いつもいいねいわかりやすく説明をいただいています。 ・とても相談しやすい雰囲気、安心してお話できています。	・お子様の様子を保護者の方々に教えていただいで共有させて頂いております。今後ともご協力よろしく願っています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3				2	・コロナの状況で交流会が延期となっております。今後検討していきたいと思っています。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5						
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5						
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5				・おたよりを楽しみにしています。他の子の活動も知ることができてうれしいです。	・有り難うございます。今後もお便りでお子様の様子をお伝えしていきます。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5						
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3				2	・私がちよつとよくわかっていません。	・契約時に研修のお話を簡単にさせて頂いておりますが、またお知らせしていきたいと思えます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか					5	・訓練されていると思いますが、ちよつとよくわかっていません。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5					・いつも楽しみにしています。ありがとうございます。 ・毎日、通いたがっています。	・とても嬉しく思います。これからもどうぞよろしく願い申し上げます。
	23	事業所の支援に満足しているか	5						

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様へ「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 10月 6日

公表: 令和 4年 10月 17日

事業所名: こども発達サポートセンターじゃんぼっぐ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		
	2	職員の配置数は適切である	10		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10		・バリアフリーに関しては、必要があれば今後対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		・月1回の研修を行っておりますが、外部の研修も今後検討していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		・医療的ケアの必要なお子様の受け入れがありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		・必要なお子様には情報共有等させていただいております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	2		・並行通園をされているお子様が多いので、じゃんぼっぐでは行っておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	8	1		・ご家族への提案等行っております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10			・コロナ等の状況を見ながら、相談会を再開したいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10			・LINE等ですぐに相談できる環境を整えています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2		・発達障害の子の負担にならない方法で考えていきたいと思ひます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。